

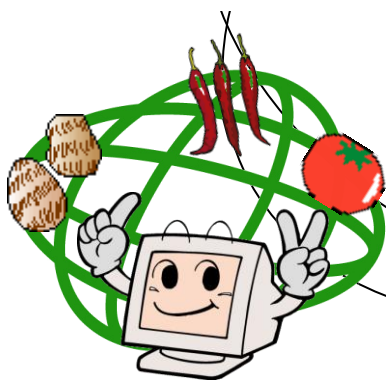
令和3年度 かんぼる地域サポート事業 活動事例集



地域の未来を考え、
行動していきたい



地域を支え合うための
新しい組織を立ちあげた



地域の資源をもっと
知ってもらいたい!



みんなが楽しめる
空間を作りたい!

中津川市役所 定住推進部 市民協働課
TEL 66-1111 (内線326)

～ 目次 ～

■絆づくり部門

No.	地区	団体名	事業名	代表者名	ページ
1	中津南	四ツ目川の桜と環境の会	四ツ目川の桜と環境の整備事業	福田 雅廣	2
2	中津南	中村区NMR23	中村区マロンパーク商店事業	足立 稔	4
3	中津南	中村区子育てサロン	中村区子育てサロン事業	足立 稔	6
4	中津東	NPO法人 命の応援隊	野良猫のTNRと小猫の保護事業	平岩 君枝	8
5	苗木	苗木城跡・苗木遠山史料館友の会	苗木城を核とした苗木の歴史伝承事業	傍島 善雄	10
6	苗木	苗木まち協 夜明けの森委員会	夜明けの森活性化事業	佐々木 孝	12
7	坂本	坂本をもっと盛り上げよう会	中山道を歩く目線で、楽しめる内容の看板を立てる事業	篠原 郁郎	14
8	坂本	命をつなぐ森づくりの会	命をつなぐ森づくり	田中 孝一	16
9	落合	落合のすばらしさを後世に伝える特別委員会	落合のすばらしさを後世に伝える事業	飯森 修	18
10	落合	続・落合郷土誌を利活用するための委員会	郷土資料利活用事業	飯森 修	20
11	阿木	おもてなしの里阿木	イベント・お祭り紹介プロジェクト	三宅 秀雄	22
12	神坂	神坂日陰対策の会	地域道路の日陰対策と資源の有効活用事業	磯川 久一	24
13	坂下	charm mates	坂下 花いっぱいプロジェクト	桂川 容子	29
14	広域	みやさか活性化協議会	みやさか花街道整備事業	安江 貞夫	31
15	川上	川上もみじ守り隊	県下一のもみじの里を目指す活動	鎌田 康三	34
16	加子母	はっぴーたん	地域を創るママカ向上事業	小島 未来	36
17	加子母	加子母軽トラ朝市推進委員会	加子母軽トラ朝市推進事業	熊澤 博志	38
18	加子母	加子母農林泊推進協議会	小秀山ルート整備	内木 篤志	40
19	加子母	加子母防災士会	地域の防災意識向上	瀧瀬 輝己	44

■立ち上げ部門

No.	地区	団体名	事業名	代表者名	ページ
1	福岡	たせっこ会	イノベーションを生み出す地域創生活動	伊藤 実加	46

令和3年度 がんばる地域サポート事業 活動事例報告書

ふりがな 団体名	よつめがわのさくらとかんきょうのかい		地域名	中津南		地区
	四ツ目川の桜と環境の会		会員数	17		人
ふりがな 代表者名	ふくだ まさひろ		延べ 参加人数 内(会員数)	159		人(101人)
	福田 雅廣			<ul style="list-style-type: none"> ・草刈り等の整備作業：81人(38人) ・施肥：7人(7人) ・見回り・安全点検：7人(7人) ・ライトアップ：20人(16人) ・会議、たより発行、その他：44人(33人) 		
事業名	四ツ目川の桜と環境の整備事業		実施期間	令和3年4月1日から		
総事業費 内(補助金額)	223,567 (200,000)	円 (円)		令和4年3月15日まで		
事業 分類	番号	①		番号	③	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業の目的						
<p>四ツ目川の桜は、植林されてから70年を超え、老木化して枯枝も増え、また、本事業を始めるまでは、手入れが行き届かなかったため頑固なツル草が幹を締め付け、桜の木も弱り、雑草も伸び放題で景観も悪く、環境悪化が進んでいました。</p> <p>そこで、桜の木を守り、景観を良くし環境を整えることで地域の安心安全を確保し、みんなに親しまれる桜並木の回復を図ると共に、自然を大切にすることを目的とします。</p>						
具体的な活動内容						
<p>具体的には、主に次のことに取り組みました。</p> <p>①四ツ目川の桜の枯枝や脇枝の切除、堤防・河川敷の草刈り等の整備を実施(5、6、10、12、3月)</p> <p>②四ツ目川の桜の木への施肥(6、9月)</p> <p>③四ツ目川の桜や堤防・河川敷等の見回り、安全点検の実施(7、9、3月)</p> <p>④四ツ目川の桜並木のライトアップの実施(4月)</p> <p>⑤「四ツ目川の桜と環境の会だより」を随時発行し、区民への啓発を実施(4、6、7、10月)</p> <p>⑥市民協働課や建設課と相談し、情報発信のための「掲示板」を設置(3月)</p>						
主な活動の流れ						
事業 内容	①	整備	整備	整備	整備	整備
	②		施肥	施肥		
	③		見回り	点検		点検
	④	ライトアップ				
	⑤	たより発行	発行	発行	発行	
	⑥					掲示板設置
		4月	6月	8月	10月	12月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
<ul style="list-style-type: none"> ・堤防や河川敷の雑草は、刈り取っても暫くすると生い茂って来ることから、定期的に草刈りが必要となるので、昨年度から「四ツ目川クリーンパートナー事業」と連携して取り組むこととし、モチベーションアップを図った。(6、10月)また、新たに一色区もこの事業に参加してくれたので、大変心強い限りである。 ・試行的に桜のライトアップを行い、四ツ目川の夜桜を見に来た人たちに好評を博した(4月)。次年度以降に向けて、投光器を追加購入したので、令和4年からは本格的にライトアップを継続していくこととする。 ・活動を宣伝するツールとして、市民協働課や建設課の支援を得て「掲示板」が設置できた。 						
今後の展開 (自立に向けた活動)						
<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備は、今後も「四ツ目川クリーンパートナー事業」と連携して、粘り強く継続して取り組む。 ・「掲示板」が設置できたので、桜並木の歴史や整備活動などについて、情報発信を行い、良き理解者や協力者の拡大を図る。 ・桜の満開時期には、「ライトアップ」を行い、多くの方に親しまれる桜並木を目指す。 ・行政とも連携し、「SDGs」に繋がる活動として取り組む。 						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

堤防や河川敷の草刈り、桜の木の枯枝切除等の「整備作業」



桜の木への「施肥」 (グリーンパイルの打ち込み)



桜並木の「ライトアップ」



四ツ目川河畔に「掲示板」設置



令和3年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	なかむらくえぬえむあーる23		地域名	中津南	地区	
	中村区NMR23		会員数	22	人	
ふりがな 代表者名	あだち みのる		延べ 参加人数 内(会員数)	人(人)		
	足立 稔			180名(700時間)		
事業名	中村区マロンパーク商店事業					
総事業費 内(補助金額)	239,987	円	実施期間	令和 3 年 6 月 1 日から		
	(200,000	円)		令和 4 年 1 月 31 日まで		
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号		① ⑦
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業の目的						
中津川市マロンパーク栗園来園者の多くは、市外県外の方です。1時間程度のクリ拾いを楽しまれ帰られます。そんな中でもっと地元栗のPRをして楽しんでいただきたいの思いと高齢者の生きがいとして他人とのつながりと高齢者の活躍が出来る場として栗園とタイアップして栗園のクリと地元産のモチ米を使った「栗おこわ」を園内等で販売するものです。						
具体的な活動内容						
①今年度の販売内容をミーティングする。 ②試作品で内容確認 ③9月の緊急事態宣言で販売場所を中村クラブ・にぎわいプラザ販売とする。 10月解除により栗園での販売をスタート ④11月に八幡神社の新穀感謝祭で注文をいただく。						
主な活動の流れ						
事業 内容		①ミーティング		④八幡神社例大祭対応で製造		
			②試作試食会			
			③栗おこわ販売:14日間			
			← 反省会 →			
	4月	6月	8月	10月	12月 2月	
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
9月の緊急事態宣言により、栗園が閉園となり、食材は、1年前から予約済みのため「栗おこわ」販売網を模索することに大変苦労しましたが、中村クラブやにぎわいプラザでの販売に活路を見出すことができました。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
コロナ禍でも前年の約9割の販売につながりました。今後もリピーター客を大事にしながら活動を継続したいと思います。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



7月:コロナ禍での活動を見据えての
ミーティング開催！



9月:今年の”栗おこわ”を試作して手順の再
確認！
コロナの緊急事態で販売出来るか悩みつ
つ…



ようやくパック作業開始
販売当日の風景です！



10月に入り ようやく栗園開園
それでもリピーターの客で毎回
完売！



団体のお客様専用窓口設置
団体への販売も毎回完売！

ふりがな 団体名	なかむらくこそだてサロン		地域名	中津南		地区
	中村区子育てサロン		会員数	68人		
ふりがな 代表者名	あだち みのる		延べ 参加人数 内(会員数)	人(13 人)		
	足立 稔					
事業名	中村区子育てサロン事業					
総事業費 内(補助金額)	100,230	円	実施期間	令和 3 年 6 月 1 日から		
	(100,000	円)		令和 4 年 3 月 23 日まで		
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号	①	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業の目的						
若い母親・父親又は祖父母の方への子育てサロン参加により、経験豊富な指導者がアドバイスする中で親のストレス解消を図り、加えて幼児同士で遊ぶ中で集団行動が出来る子どもを育てるものです。						
具体的な活動内容						
過去の活動内容を参考にコロナ禍でも出来る内容でスタッフ一同検討。 開催日の前週に準備委員会(9時～12時)を行い準備を行う。 4月新スタッフ紹介、コロナ感染対策、安全確認、受け付けの係決め 10月換気効果確認、消毒など打ち合わせ 11月親子運動会						
主な活動の流れ						
事業 内容	各月の第3火曜日(10時～12時)で計画					
	4月・5月・6月・7月・9月・12月・2月・3月がコロナ感染拡大で中止					
10月・11月で開催						
		★ ★				
4月	6月	8月	10月	12月	2月	
具体的な活動成果(失敗や苦勞したこともご記入ください。)						
・準備を進め開催したが参加者が少なく(スタッフ数よりも)参加者の母親のネットワークで急遽呼びかけをする状況であった。 ・コロナ禍で開催可否が参加者の親さんに伝える事が無理(どうしても市のメールに頼らないといけない状況)						
今後の展開(自立に向けた活動)						
自治会からの支援で当面活動続け、将来的には参加料を検討する。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください



長年の活動成果が認め
岐阜県地域子ども支援
賞受賞



2021年10月の子育て
サロンの様子です。
今年は、コロナウイルス
感染拡大防止の為、中々
開催する事が出来ません
でした。
昨年度は、20組以上の
参加者を迎え大変盛り上り
ました。

ハロウインの飾付けも
なんだか寂しそうです。
今後も、感染予防をし
スタッフ全員でたくさん
の子どもたちの参加を
お待ちしております。



11月のミニ運動会風景

令和3年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

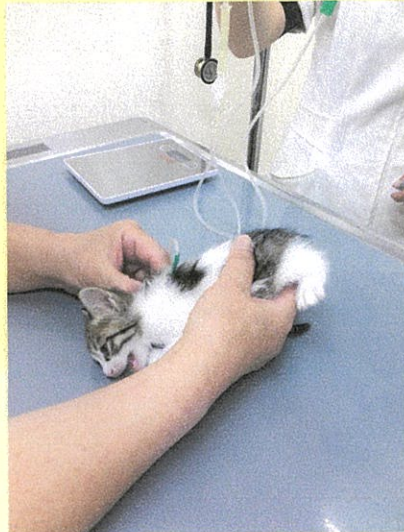
ふりがな 団体名	いのちのおうえんたい		地域名	中津東 地区		
	NPO法人 命の応援隊		会員数	10	人	
ふりがな 代表者名	ひらいわ きみえ		延べ 参加人数 内(会員数)	105 人(10 人)		
	平岩 君枝			・譲渡会 5人×3回=15人 ・保護活動等 3人×30回=90人		
事業名	野良猫のTNRと小猫の保護事業			実施期間	令和 3 年 6 月 1 日から 令和 4 年 3 月 23 日まで	
総事業費 内(補助金額)	896,210 円 (200,000 円)					
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号	②③	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的					
	野良猫が増えないようにTNR(捕獲、手術、戻す)活動を積極的に行い、活動を普及推進する。 また、捨て猫や小猫などの里親探しを行う。					
	具体的な活動内容					
	・野良猫のTNR(捕獲、手術、戻す)活動 ・シェルターをつくり、預かった小猫(20匹)の里親探し ・シェルターに交通事故で怪我をした猫を保護、病気で行き場の無い猫を保護し面倒を見た。					
			・譲渡会の開催	・譲渡会の開催	・シェルター設置	・シェルター使用
			・野良猫のTNR			
		4月	6月	8月	10月	12月
						2月
	具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)					
	・野良猫のTNR(捕獲、手術、戻す)活動を54頭行い、成果を上げることができた。 ・念願であったシェルターを設置することができた。 ・預からざるを得ない猫や行き場のない猫が多く、どうすればよいか限界を感じながらの活動になっている。					
今後の展開(自立に向けた活動)						
・令和4年度に猫カフェを開く予定もあり、何とか行き場のない猫をそこで将来のことも考えてあげたいと思う。 ・令和4年度から市で不妊手術に対する助成金制度を考え、実施していただけるとのこと、非常にありがたいと思う。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

TNR



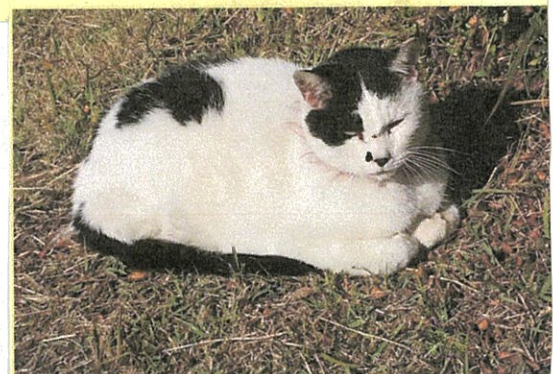
保護、治療



譲渡会も開催中



地域猫活動



2021年度実績 (2020/4/1~2021/3/31)

- ・保健所からの引き出し 141頭
- ・地域猫活動(TNR) 54頭

保護された子たちは治療後、新しい家族の元へ旅立っています。

- ・ TNRとは、捕獲し、手術して元の場所に返すことです。
- ・ その後は、地域の猫として元の場所で面倒をみていただきます。
- ・ 小猫や病気、けがをした猫は、なるべく引き取り、血液検査や治療を施し、里親さんを探すために譲渡会などを開きます。

ふりがな 団体名	なえぎじょうあと なえぎとおやましりょうかんとものかい	地域名	苗木	地区
	苗木城跡・苗木遠山史料館友の会	会員数	73	人
ふりがな 代表者名	そばじまよしお	延べ 参加人数 内(会員数)	287 人(73 人)	
	傍島善雄		4月15人 5月19人 6月32人 7月21人 8月25人 9月21人 10月25人 11月44人 12月24人 1月31人 2月30人	
事業名	苗木城を核とした苗木の歴史伝承事業			
総事業費 内(補助金額)	354,400 円 (200,000 円)	実施期間	2021 年 4 月 25 日から 2022 年 2 月 28 日まで	

事業 分類	番号	②	活動 分野	番号	④	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他		

事業の目的

苗木城は近年、テレビ・新聞などで取り上げられる機会が増え、注目度が上がっています。しかし、地元ではまだまだ関心度が低いのが現状です。友の会では苗木城跡を核として、苗木の歴史を伝承したいと考えています。

具体的な活動内容

1年目 苗木地区・苗木城跡を中心として、歴史的遺跡の案内及び説明用看板の設置
 2年目 小・中学生向けの、かるたの制作 紙芝居づくりの用意
 3年目 小・中学生向けの紙芝居づくり
 令和3年度(3年目)の活動
 ○ かるた増刷の取り組み
 ○ 紙芝居の制作 鈴木三蔵物語 苗木初代藩主遠山友政物語 (台本づくり,絵の依頼・制作)
 ○ 鈴木三蔵物語・苗木初代藩主遠山友政物語・苗木城物語のDVD制作

事業 内容	活動日	29 3・27	1・17	15	7・19	16	2.21 18・22	4・16 20・21	1・17
	紙芝居					←	←	←	←
	絵		←	←	←	←	←	←	←
	DVD					←	←	←	←
		4月 5月	6月 7月	8月 9月	10月 11月	12月	1月 2月 3月		

具体的な活動成果(失敗や苦勞したこともご記入ください)

1 かるた90セット増刷しましたが思ったより費用が多くかかりました。
 2 紙芝居は、すずきさんぞうものがたり・苗木初代藩主遠山友政物語を2作品制作しました。台本づくりや台本どりの絵が想像以上にむづかしく、期限までに出来るのか心配しました。結果は2作品とも完成。絵については大久保正道さんに依頼し、完成までに何回も筆を入れられ、たいへんな力作だと思っています。
 3 DVD制作は苗木城物語も加え3作品としました。
 ● 苗木の歴史を紙芝居にしました。小学生向き・中学生向きの作品です。学校等で利用して頂きたいと考えています。(DVD30枚制作)

今後の展開(自立に向けた活動)

1 紙芝居をDVDにしました。3月より中津川市の小・中学校に配布予定です。恵那市の苗木藩の小・中学校にもインターネットを利用して頂けるようユーチューブへのアップを行いました。また学童保育所の方とも相談をし、テレビ用のDVDも考えています。
 2 かるた大会の実施 コロナ感染の状況を見ながら、かるた大会→苗木城でのたから探し(かるた大会出場者のみ)も行ないたいと考えています。
 3 紙芝居をPCとプロジェクターを使い、地域の方々にも見て頂きたいと思ひます。

※この様式は活動事例集として編集し自由のて変更のたておき

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



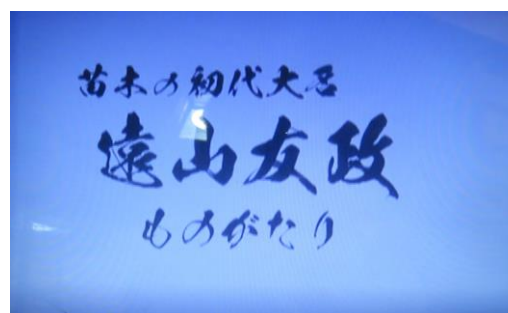
かるた増刷 箱詰め



紙芝居撮影



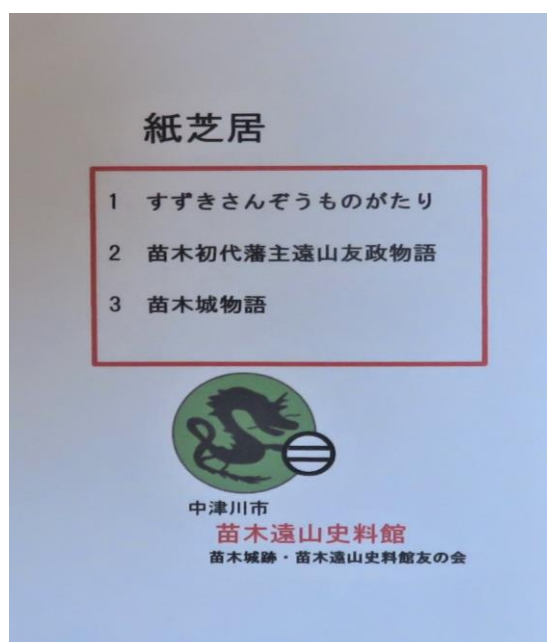
苗木城物語



苗木初代藩主遠山友政物語



すずきさんぞうものがたり



DVD

ふりがな 団体名	なえぎまちきょう よあけのもりいんかい		地域名	苗木	地区	
	苗木まち協 夜明けの森委員会		会員数	14	人	
ふりがな 代表者名	ささき たかし		延べ 参加人数 内(会員数)	146 人(146 人)		
	佐々木 孝			6月…23人、7月…28人、8月…21人 9月…9人、10月…14人、11月…12人 12月…22人、1～2月…17人		
事業名	夜明けの森活性化事業					
総事業費 内(補助金額)	200,000 円	200,000 円	実施期間	令和 3 年 4 月 22 日から 令和 4 年 3 月 8 日まで		
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号	③・④	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業の目的						
<p>高峰湖を中心とした素晴らしい景観を維持し、地内をめぐる遊歩道の保守点検、また植栽された多種類の樹木や生息する希少植物、昆虫などの保護を通してこの地域の良さを広く区民、市民に紹介し、四季を通じて市民の憩いの場としての定着を図るため以下の活動を推進する。</p> <p>①夜明けの森の遊歩道を整備し、東屋、ベンチ等の修復を図り、安心して散策できる環境にする。</p> <p>②高峰湖周辺の景観を改善し、特徴的な植物や四季の景観を紹介するマップ制作を行う。</p> <p>③自立できる組織を目指し、販売グッズの開発、制作に取り組み、夜明けの森を学習の場とするイベントの開催を企画する。</p>						
具体的な活動内容						
<p>6月環境整備作業…2回(テニスコート、トイレ周辺、芝生広場の草刈り)</p> <p>7月環境整備作業…2回(管理棟前のさつきなどの樹木の剪定・高峰山荘前から遊歩道のさつきの剪定)</p> <p>8月環境整備作業…1回(高峰湖周辺の遊歩道の草刈りと清掃)</p> <p>9月環境整備作業…2回(モミジの道、サツキの道の草刈り、チノ湖よりチノ峠に至る遊歩道の草刈り)</p> <p>10月環境整備作業…3回(マツの道から治山ガーデンドウダンの道に至る遊歩道の草刈り、チノ湖からサツキの道に至る遊歩道の草刈り)</p> <p>他にチノ湖近くの2つの東屋周辺を整備し眺望を改善。芝生広場の樹木の剪定・伐採。 ガイドマップ制作に向け、高峰湖周辺の植生調査を複数回実施し、70種類ほどの植物を確認した。 コロナにより実施には至らなかったがイベントの企画、販売用グッズの試作を行った。</p>						
主な活動の流れ						
事業 内容	植生調査 環境整備 (草刈・剪定)	遊歩道整備 植生調査	植生調査 (結果整理)	剪定・枝打ち	イベント企画・準備 (未開催) グッズの試作	
	6～8月	10月	11月	12月	1～2月	
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
<p>第1期の活動開始時は、遊歩道の周りも樹木に覆われてしまい湖面も眺めることはできなかった。今期の活動の中で、市の担当課が大規模な伐採を行った際に、当委員会でも下刈りや剪定作業を行った結果、遊歩道周辺の景観は見違える程改善させることができた。散策される方も増加したように感じられる。チノ湖奥や治山ガーデン周辺も整備を行うことができたため、夜明けの森を巡る遊歩道は一通り整備でき、以後は定期的に手を入れていくことによって熊笹に覆われることもなくなり、歩きやすい環境を確保することができる。植栽木も長年放置されていたが、剪定を行ったことで樹形が整い、花付も良くなることが期待できる。</p>						
今後の展開(自立に向けた活動)						
<p>整備した高峰湖周辺を、子ども達の学習の場として活かしたい。70種類以上の多様な樹木や草花、野鳥や昆虫などの自然環境を紹介し、小中学生を中心とした自然学習の場としての活用を図り、市民の憩いの場としていけるよう活動していきたい。</p> <p>ハイキング・ウォーキングなど、夜明けの森を会場とした催しを、関係機関等と連携して実施したい。学習の場としても夜明けの森を活かすことができるよう、そうしたイベント活動を軌道に乗せたい。</p> <p>今期で試作なども行ったグッズやイベントを核としながら、持続可能な会へと繋げたい。</p>						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

令和3年6月10日(木) 8時～11時

テニスコート中&周辺、管理棟、芝生広場までの草刈りを実施



令和3年7月15日(木) 8時～11時

管理棟周りのツツジ、サツキの剪定と草刈りを実施



令和3年10月6日(水) 8時～12時

環境整備作業10回目…さつきの道(市民の森コース)の草刈りを実施

今回の草刈り箇所



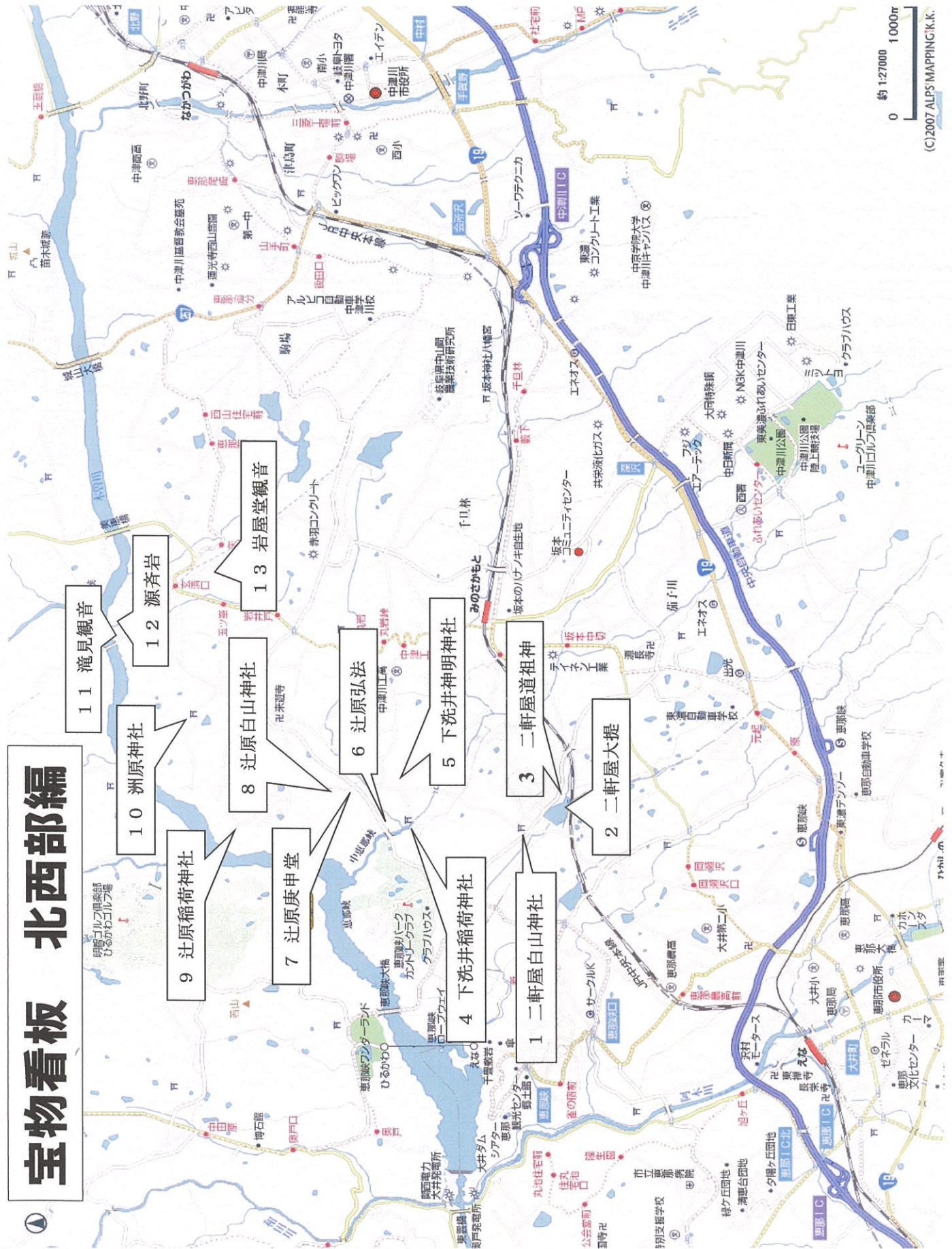
植生調査&販売グッズの試作



(令和3)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	さかもとをもっともりあげようかい		地域名	坂本		地区
	坂本をもっと盛り上げよう会		会員数	6		人
ふりがな 代表者名	しのはら いくろう		延べ 参加人数 内(会員 数)	74 人(74 人)		
	篠原 郁郎					
事業名	中山道を歩く目線で、楽しめる内容 の看板を立てる事業					
総事業費 内(補助金額)	200,200 円 (200,000 円)		実施期間	令和3年 5 月 25 日から 令和4年 3 月 31 日まで		
事業 分類	番号	③		活動 分野	番号	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他	④	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業					
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業						
事業 内容	事業の目的					
	昨年度中に出来た方式や段取りにしたがって、各地点の文物の説明看板(個別看板)を、より詳細な情報提供のために、QRコード付で本格的に導入を行います。					
	具体的な活動内容					
	案内看板は、落合地区の団体との打ち合わせ結果に基づき、色調の統一化を行いました。またQRコードをつけることで、従来にない情報提供の方法を取り入れました。 海外からの旅行客のために、昨年に続き、看板に英語表記を加えて、グローバル化を進めました。					
	主な活動の流れ					
			6月(顔合わせ 計画の合意 現地の調査)			
			7月以降(看板の意匠の検討)			
			8月以降(看板の制作)			
			9月以降(設置 3月まで継続)			
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果(失敗や苦勞したこともご記入ください。)						
中津川市の宿場と、坂本の街道が繋がっていることが分かりやすくなり、地域の住民にも改めて街道の良さを知ってもらえたと考えています。また、案内看板には英語表記に加えて、新しくQRコードの設置、色調の統一化を進めることが出来ました。 各作業の流れの中で、文章や表現などの変更や、多忙な中での作業が遅れ、相当苦勞しました。出来上がった看板は、かなりきれいで満足度の高いものに仕上がったと自己満足しています。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
1)看板の制作と設置の続行(坂本地域内の文物を網羅する) 2)他地域のグループ等との会合 3)4年目以降の事業の進め方の検討 4)坂本まち協の教育文化部会・産業振興部会と連携し、坂本の歴史文化の継承と観光資源の掘り起こしなどの事業化を検討していく。						

宝物看板 北西部編



0 約 1:27000 1000m
 (C)2007 ALPS MAPPING/K.K.

ふりがな 団体名	いのちをつなぐもりづくりのかい		地域名	坂本	地区
	命をつなぐ森づくりの会		会員数	8	人
ふりがな 代表者名	たなか こういち		延べ 参加人数 内(会員数)	145 人(16 人)	
	田中 孝一			めぐみ保育園 にしこまの森こども園 坂本さくら保育園 坂本こども園の年長園児 95名 先生12 6月8日 ポット苗を育成畑に植替え作業 さ 坂本こども園年長園児34名 先生4名	
事業名	命をつなぐ森づくり			実施期間	着手 令和3年 4月 1日 完了 令和3年12月15日
	総事業費 内(補助金額)	216,836円 (200,000円)			
事業の目的					
2016年に閉鎖されたゴルフ場跡地を、敷地所有者と地元の園児が協同して自然の森に還す活動を2018年から始めました。敷地内で様々な種類のどんぐりを拾い、芽吹かせ、数年かけて大きくなった苗木を植樹します。園児がこの活動を経験することにより「命をつなぐ」ことを学び、自然に触れあうなかで命の大切さ知り、心豊かに成長してくれることを願っています。また、園児が成長した時に、自分が植えた木々が大きくなって、人々や森の動物たちの憩いの場所となっていれば大きな喜びを感じ、郷土愛をさらに増してくれることと思います。					
具体的な活動内容					
坂本地域の子供が主に通園する4ヶ所の保育園・こども園の年長園児が10月に2日間に分けて活動した。①敷地の説明、森に還すことの大切さの説明 ②敷地内でどんぐり拾い ③拾ったどんぐりをポットに蒔く(ポットの管理は銀の森が行い、ポット1個と拾ったどんぐりは各自園に持ち帰る) ④自然のなかで昼食 ⑤森やどんぐりに関する絵本の読み聞かせ ⑥敷地内を散策 6月には、今までに育てたポット苗を育成畑に移植する作業を坂本こども園年長園児が行った。 *森の恵みの活用...今年度も松ボックリで作るクリスマスツリーを6園の年長園児が経験した。					
主な活動の流れ					
事業 内容	参加希望園の募集と実施予定日聞取り		2日間に分けて実施		
	スケジュール調整		22日めぐみ保育園ほか2園 29日坂本こども園		
	貸切バスの予約		松ボックリで作るクリスマスツリー6園で実施		
	育成畑に移植作業		警備、読み聞かせボランティア依頼		
	4月	6月	8月	10月	12月 2月
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)					
毎年、各園では園児を連れてどんぐり拾いに出かけますが、道中での交通事故の心配や、拾う場所を探すのに苦勞しているとの事です。本活動のフィールドではそうした懸念がなく、園児が安心してどんぐり拾いを楽しめ、自然にふれあえると好評です。新型コロナの影響で中津川保育園と杉の子幼稚園が参加取止めとなり、参加は4園となりました。旧ゴルフクラブハウスが老朽化した為に十分には使用できなくなり、天候の悪い日の対応が今後の課題となります。					
今後の展開(自立に向けた活動)					
植樹した木々が成長して、人と自然が共生できる憩いの森になるまで活動を継続して行きたいと思いますが、活動資金を継続して確保できるのか懸念されます。自園で交通手段を確保できる園のみが参加する活動ではなく、坂本地域の園児が等しく参加でき、自然を楽しめ、学習できるものになりたい。さらには、坂本地域以外の希望する園を受け入れる体制も敷地所有者と協議しながら整えていきたいと思っています。					

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

2021年 命をつなぐ森づくり 活動写真

貸切バスで到着



ドングリを拾う



ポットにドングリを蒔く



楽しい昼食



広いフィールドで遊ぶ



6月植替え作業



松ボックリで作るクリスマスツリー



令和3年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ふれあいのすばらしさをこうせいにたえとくべついいんかい		地域名	落合	地区		
	落合のすばらしさを後世に伝える特別委員会		会員数	8	人		
ふりがな 代表者名	かいちょう いいもり おさむ		延べ 参加人数 内(会員数)	24 人(21 人)			
	会長 飯森 修						
事業名	落合のすばらしさを後世に伝える事業						
総事業費 内(補助金額)	201,658 円	(200,000 円)	実施期間	令和 3 年 6 月 1 日から 令和 4 年 3 月 25 日まで			
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号	④ ⑩		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他					
事業の目的							
<p>落合のすばらしさを後世に伝えるため、「落合」の風景、地形、行事等の撮影と記録及び民話などの伝承をすることを目的とする。</p> <p>1 ドローン操縦者の養成 2 風景や地形、行事等の継続した撮影と記録 3 地域の民話の伝承 4 地域の方にそれらを知ってもらう</p>							
具体的な活動内容							
<ul style="list-style-type: none"> ・ ドローンを飛ばして、地域の風景、地形の空撮を行いました。・ 地域の民話の伝承を呼びかけた。(小中学生を対象に落合の民話の冊子からクイズを行った) ・ 落合の民踊の踊り方動画DVDを作成した。 							
主な活動の流れ							
事業 内容	6/30 会議		落合の空撮活動				
			民踊DVDをHP、YouTubeへアップするための活動				
			12/22 会議	3/10 会議			
	4月	6月	8月	10月	12月	2月	3月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)							
<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 落合小・中学生を対象に民話の本を活用したクイズを行うことができた。(12/25～1/31)110名参加 ・ 落合ダムや、ふれあい牧場などの空撮を行うことができた。(30回) <p>(苦労したこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ドローンパイロットの養成が落合の空撮と同時に出来るという考えからスタートしたが、練習できる人が限られる上、コロナ禍で思うような活動が出来なかった。 							
今後の展開(自立に向けた活動)							
■後世に残す映像を記録し活用する活動を続けていく。							

※この様式は活動事例集として編集可能なため変更しないでください

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



落合のすばらしさを後世に伝えるため、「落合」の風景等を撮影しホームページ等で紹介する。
（四季の風景や落合全体の風景、落合本陣の案内や中山道落合の宝物の動画など）

落合の民踊を後世に伝えるためにDVDを作成し、保・小・中学校や公民館等において活用してもらう。

また、ホームページ等でも紹介する。

1. 大久手音頭
2. 上町祇園小唄
3. 落合峡小唄
4. おがらん音頭
5. 三五沢盆踊り唄
6. 与坂街道



風景動画及び民踊動画

民踊DVD



QRコード



令和3年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

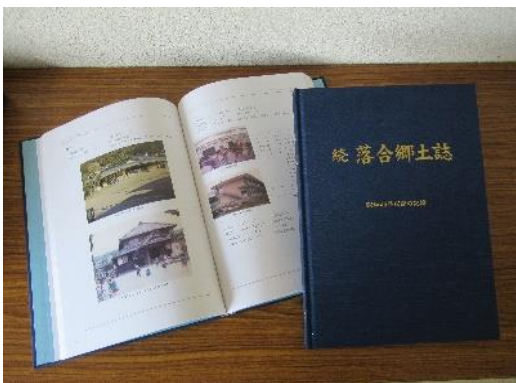
ふりがな 団体名	ぞくおちあいきょうどしをりかつようするためのいいんかい		地域名	落合	地区		
	続・落合郷土誌を利活用するための委員会		会員数	7	人		
ふりがな 代表者名	かいちょう いいもり おさむ		延べ 参加人数 内(会員数)	59 人(55 人)			
	会長 飯森 修						
事業名	郷土資料利活用事業						
総事業費 内(補助金額)	2,681,580 円 (200,000 円)		実施期間	令和 3 年 6 月 1 日から 令和 4 年 3 月 25 日まで			
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号		⑨⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的						
	先人が残した地域に関連した資料や伝承を読み解いて、自分たちの暮らす地域の歴史や文化の中から「宝」となるものを再発見し、地域に愛着や誇りを持てる市民を育てる。						
	■郷土の歴史・文化に関わる資料の整理・データ化 <ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料の読み解き ・事象を地域の「宝」として意識づけ、地域活性化、落合の魅力向上、文化の継承に結びつける 						
	具体的な活動内容						
	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年11月から令和2年7月にかけて執筆された原稿の内容を確認し、表現・体裁の統一、校正などの作業を行い、「続・落合郷土誌」として発刊した(発行部数1,200部)。 ・地域の各世帯に配布し、住民が昭和45年以降の50年間を振り返り、地域の歴史や文化への愛着を育む一助とした。(地域内世帯配本 1,085部) 						
	主な活動の流れ						
				資料確認・編集	12/10	発刊セレモニー	
					印刷製本	地域内配本	
		4月	6月	8月	10月	12月	2月 3月
	具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
(成果) <ul style="list-style-type: none"> ・昭和45年以降の落合の出来事をまとめることができた。 ・地域の人々が昭和45年以降の50年間を振り返り、地域の歴史や文化への愛着を育むきっかけを創出することができた。 							
(苦労したこと) <ul style="list-style-type: none"> ・編集(校正)の段階で、原稿と事実との確認、表現・体裁の統一等に多くの時間を費やした。 							
今後の展開(自立に向けた活動)							
■引き続きまち協として <ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化・歴史を記録して後世に引き継ぐ活動を継続する ・過去にまとめられた資料を掘り起こして整理・データ化するなど、利用可能な記録とする。 ・新旧の資料を読み解いて、落合の歴史や文化を継承する活動を行っていく。 							

※この様式は活動事例集として編集し、自由に変更しないでください。

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



▲令和2年7月、「続・郷土誌」の原稿(執筆者10人/平成26年11月～)の執筆が完了し、落合まちづくり推進協議会に手渡された。この原稿を基礎として、令和3年度に「続・落合郷土誌」の発刊事業がすすめられた。



▲続・落合郷土誌を利活用するための委員会による原稿の確認、表現・体裁の統一、校正などの作業を経て、令和3年12月「続・郷土誌」が発刊された。12/10に原稿執筆者も交えて発刊セレモニーを開催した。

■ 「続・郷土誌」の発刊を伝える新聞記事

▲ 岐阜新聞 令和4年1月20日付朝刊

◀ 中日新聞 令和4年1月16日付朝刊

(令和 3)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	おもてなしのさとあぎ		地域名	中津川市阿木		地区
	おもてなしの里阿木		会員数	11		人
ふりがな	みやけひでお		延べ 参加人数 内(会員数)	1450 人(11 人)		
	三宅秀雄			インフルエンザウイルス拡大によりイベントの中止が多く、見学者は例年より少ないようでした。		
事業名	イベント・お祭り紹介プロジェクト					
総事業費 内(補助金額)	224,245 円 (200,000 円)		実施期間	令和 3 年 4 月 1 日から 令和 4 年 3 月 31 日まで		
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号 ④	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			活動 分野	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育	
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業 内容	事業の目的					
	中津川市阿木、飯沼、広岡では地元のお祭り、イベント等を紹介する団体がありません。阿木地域のお祭り、イベント等を紹介して地域外の多くの人々に参加をしていただいて、阿木地区の良さを知って戴きたいと思っております。					
	具体的な活動内容					
	阿木有志9団体を紹介したマップ3000部、しゃくなげ祭り紹介看板16枚、花ハス祭看板を8枚、阿木大イチョウ案内看板1枚を作りました。成果品を利用して新聞社などの報道機関、中津川市恵那市関係各課等への働きかけを行いPR活動を行った。					
	主な活動の流れ					
	執行部会 観光マップ 印刷発注	執行部会 しゃくなげ祭 ハス祭 看板発注	阿木大イチョウ 大看板発注			執行部会 活動事例 報告書作り
4月	6月	8月	10月	12月	2月	
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
一年中コロナが続いて大きな活動が出来ませんでした。ハス祭の時期だけコロナが収束しましたので、各新聞社にお願いして、宣伝をしました。また中津川市観光情報サイトに掲載していただきました。各種宣伝のおかげで期間中約1000人ほどが見学に来ていただきました。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
中津川市観光課と協力してインターネットで配信していただく。恵那市観光協会、明知鉄道等において、各行事のPRをしていただく。今までどうり中日新聞、岐阜新聞、ぎふチャンテレビ等に各行事の掲載をお願いしていく。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

令和3年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	みさかひかけたいさくのかい		地域名	神坂	細野地区	
	神坂日陰対策の会		会員数	20	人	
ふりがな 代表者名	いそかわ きゆういち		延べ 参加人数 内(会員数)	56 人(56 人)		
	磯川 久一			役員会 3回×5人	15人	
事業名	地域道路の日陰対策と資源の有効活用事業		作業実習会 1回	10人	伐採作業 3回	31人
総事業費 内(補助金額)	201,570 円 (200,000 円)		実施期間	令和 3年 8 月 1 日から 令和 4年 2 月 27 日まで		
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号		② ③ ⑥
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的					
	神坂地区の主な道路は、山林に沿った所が多く通学路や歩道、車道など通行に支障をきたしている状況です。 この会では、こうした中道路沿いの立木伐採を行うことにより、見通しが良く交通の便も良くなり、通学路の安全や住民の往来が進むと考えています。又、伐採材の活用を行い薪などの副産物利用が図れるとも考えています。 このような取組を行い、住民に関心を持ってもらえるような日陰対策を進めていきたいと思っています。					
	具体的な活動内容					
	* 役員会議の開催 8月22日(5人)、12月12日(5人)、2月6日(5人) 開催数 3回 ○協議内容: 1.伐採要望、伐採場所の検討と選定 2.今後の日程調整 3.機器等の購入 4.安全確認等 * 区長会等との打合せによる活動場所などの選定を行った。 * 共同作業実施のための機材等の当初見積もりをもとに、交渉を行い購入を行った。 * 作業実習会を行い、道路沿いの伐採作業を実施した。 伐採作業参加人数 令和3年2月13日(日)10人、2月20日(日)10人、2月27日(日)11人					
				役員会の開催 8/22	役員会の開催 12/12	機材の購入 2/3 役員会の開催 2/6 作業実習会の開催 2/6 伐採作業の実施 2/13、2/20、2/27
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
	具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)					
	* 役員会を行い計画は立てたがコロナ禍の中、計画通り実施することが出来なかった。 * 共同作業実施のための機材等の当初見積もりをもとに、交渉を行い購入を行った。 * 作業実習会を行い、伐採作業を実施した。 ・作業実習会:令和4年2月6日(日) ・伐採作業日:令和4年2月13日(日)10人、2月20日(日)10人、2月27日(日)11人 伐採作業場所:神坂細野地区高野地区 位置図:添付のとおり					
	* 区長会、地域づくり協議会代表者、神坂地域事務所との意見交換会などを行い、活動場所の選定などを行う。 * 先進地調査を行い取組活動の研修を行う。 * 薪ストーブ利用者などに呼びかけ「薪づくり実習会」を開催する。					

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

令和3年度活動写真

■作業実習会 令和4年2月6日

参加人数 9名



■伐採作業 神坂 細野 高野地区 市道5号線沿い
令和4年2月13日 参加人数 10人





■伐採作業 神坂 細野 高野地区 市道5号線沿い
令和4年2月20日 参加人数 10人



■伐採作業 神坂 細野 高野地区 市道5号線沿い
令和4年2月27日 参加人数 11人



(令和 3)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ちゃーむめいっつ		地域名	坂下		地区	
	charm mates		会員数	9		人	
ふりがな 代表者名	かつらがわ ようこ		延べ 参加人数 内(会員数)	142 人(68 人)			
	桂川 容子			会議(6回) 作業(19回)			
事業名	坂下 花いっぱいプロジェクト						
総事業費 内(補助金額)	200,785 円 (200,000 円)		実施期間	令和 3 年 4 月 1 日から 令和 4 年 3 月 15 日まで			
事業 分類	番号	①		活動 分野	番号	③ ⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業				①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的						
	坂下地域や住んでいる人を明るく元気にできる事業を目指す						
	具体的な活動内容						
	①坂下総合体育館の花壇の整備と花植え(6月・11月) ②花のプランターの設置(駅から公民館、坂下総合体育館、きりら坂下など7箇所) ③駅の入口に季節の飾りを設置 ④「私たちのまち☆応援花」(きりら坂下の公園でコスモスの種50セットを配布) ⑤竹あかり作り・設置 ⑥坂下駅前のイルミネーションの設置 ⑦通信「夢ひろば」の発行・・・活動報告 ⑧SNSで活動内容や地域の魅力を発信						
	主な活動の流れ						
			①②	③	①②		
			④		⑤	⑦	
				⑧	⑥		
	4月	6月	8月	10月	12月	3月	
	具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)						
感染症の影響で、計画していたイベントが今年度も開催できず、「坂下花いっぱいプロジェクト」という事業に変更。今年度はメンバーだけの活動ではなく、地域の方や学生の皆さんにも一緒に参加してもらって、花植えから竹あかり、駅のイルミネーション、季節の飾りなど、様々なことをすることができた。「私たちのまち・応援花」では、発想を変えて、花の種を受け取った人がそれぞれのまわりに花を咲かせ、「住んでいる地域を応援しよう」というメッセージを込めた。活動を広げるなかでチャームメイツの存在もPRでき、SNSなどで坂下の風景やチャームメイツの活動を発信することで、興味をもってもらうことができた。							
今後の展開(自立に向けた活動)							
・坂下まちづくり協議会の1団体として、今まで進めてきた事業を地域の人に広げながら続けていきたい(花植え、イルミネーション、竹あかりなど) ・SNS発信、通信などで団体、活動の周知をはかる ・個人の状況にあった選べる会員設定(メイン、サブ)で、参加しやすい仕組みをつくり会員増につなげる							

※この様式は活動事例集と同一編集自由なので変更ないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



①花壇の整備と花植え
坂下高校・中京学院大学の
学生、地域の方と一緒に実施



②花のプランターの設置
プランターには学生のみさんの
メッセージをつけました



③駅の入口に季節の飾りを設置
年始には地元の書道教室の作品
「2022年の漢字」



④私たちのまち・応援花
坂下高校のみさんと、コス
モスの種の無料配布



⑤竹あかり作り
地域の方、公民館講座受講生のみさんと
一緒に竹あかりを作り、きららに設置



⑥駅前イルミネーションの設置

令和 3 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	みやさかかせいかきょうぎかい		地域名	神坂・山口・坂下・川上		地区
	みやさか活性化協議会		会員数	31		人
ふりがな 代表者名	やすえさだお		延べ 参加人数 内(会員数)	95		人(48 人)
	安江 貞夫			運営会議(3回)		除草作業(2日)
事業名		みやさか花街道整備事業		植樹作業(1日)		
総事業費 内(補助金額)	303,600 円		実施期間	令和 3 年 6 月 1 日から		
	(200,000 円)			令和 4 年 3 月 15 日まで		
事業 分類	番号	①②		活動 分野	番号 ③④	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業の目的						
令和3年度、開通予定の神坂SAスマートインターをこの地域の変革のチャンスと捉え、スマートインターから神坂・山口・坂下・川上までをつなぐみやさか花街道(仮称)を整備し、観光客の流れを作り、観光客の増加による経済効果と、この地域を訪れる人たちが、地域の文化・特色に触れる事により、他地域からの移住定住の促進につなげ、地域の活性化を図る。						
具体的な活動内容						
神坂SAスマートインター出口から、馬籠から山口椿街道、県道3号線、夕森公園線を経由し、夕森公園までの植栽可能な街道沿いに、地域住民と協力して花桃・モミジの苗木430本を植栽する予定。3年間に植樹した本数は、神坂地区モミジ80本ハナモモ70本、坂下地区モミジ60本ハナモモ70本、川上地区 モミジ80本ハナモモ120本、その他、市の緑化推進委員会よりモミジ50本ハナモモ50本の提供を頂きましたので総数はモミジ270本、ハナモモ310本、合計580本の植樹を行う事が出来ました。						
主な活動の流れ						
事業 内容	手入れ	_____		_____		
	植栽	_____		_____		_____
	準備	_____		_____		_____
	計画	_____		_____		_____
		4月	6月	8月	10月	12月 2月 3月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
今年度は、最終年度となり、川上地区に植樹を行いました。今回は川上地区の自然休養村センター周辺に行い、川上地区はモミジが多い為、花桃を多く植える事としました。SIの完成は遅れていますが、開通後に飛騨方面に向かう人達を花桃と、モミジの紅葉が迎えてくれる事を思いながら作業をしました。作業には、川上もみじ守り隊の方々が多く参加され、女性、青年の参加も見られ、今後の成長と活動の継続を期待しています。以前の植樹地の状況は、まだ満開には程遠く、また、雑草に負けないよう管理していくのが大変と分かっていましたが、作業時に間違っ切ってしまう等の失敗もありました。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
植栽後の手入れ(ツル切り、除草等)をこまめに行わないと樹木の生育が悪くなるので、こまめに除草しなくてはなりません。今年度はコロナ禍により、活動も制限された為と、雑草が大きくなった後の作業となったので大変な作業となってしまいました。今後は回数を増す事と、方法をを考えていくつもりです。多くの方に参加していただく為にもっとアピールを行う。参加と自主的な活動に結び付ける方法を議論し進めます。植樹に参加頂いた方は愛着が湧くと思いますので、そうした喜びを増やす方向へ進めていきます。また、開花・紅葉時期には、パンフレット、のぼり旗、案内板の設置等を行いたいと思います。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



前年度植栽地除草



除草完了



植樹作業中

斜面の為
足場が悪く大変



植樹作業中

植付穴を掘ると
石と萱の根が



植樹完了

早く咲かないかな？



植樹完了

満開が待ち遠しい

(令和3)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	かわうえもみじまもりたい		地域名	川上		地区
	川上もみじ守り隊		会員数	23		人
ふりがな 代表者名	かまた こうぞう		延べ 参加人数 内(会員数)	323 人(103 人)		
	鎌田 康三			* 4/10.植樹祭準備18人(17人) * 4/11.植樹祭230人(22人) * 7/10.夕森溪谷整備(17人) * 10/9.夕森溪谷整備(11人) * 3/5.みやさか植樹準備 川上地区22人(18人) * 3/12.みやさか植樹 川上地区25人(18人)		
事業名	県下一のもみじの里を目指す活動		実施期間	令和 3 年 4 月 10 日から 令和 4 年 3 月 31 日まで		
総事業費 内(補助金額)	268,710 円 (200,000 円)					
事業分類	番号	②		活動分野	番号 ③ ④	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		活動分野	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業内容	事業の目的					
	先人達から引き継いだ夕森溪谷のもみじを地域活性化の核とし、県下一のもみじの里づくりを目指して『川上もみじ守り隊』を組織した。この活動が地域経済へ寄与し次世代へと受け継がれる仕組みを創る。					
	具体的な活動内容					
	* 整備対象面積が広大のため、整備する重点エリアを決め、年間行事を踏まえて作業サイクルを作り次年度へ継続する。 * 4/10 植樹祭の準備。もみじの苗70本、バーク35袋を現場に搬入。支柱70本を植栽場所に配置した。 * 4/11 植樹祭当日。一般植樹及び記念植樹(小学校入学、遺暦、三菱UFJ銀行協賛)椎茸の菌打ちをサポートした。 * 7/10 旧夕森荘の下の東屋、池周辺のさつき、雑木の整備作業。2tダンプカー9杯分の処理枝が出た。 * 10/9 You遊館駐車場、You遊広場周辺の整備作業。2tダンプカー3杯、軽トラ4杯分の処理枝が出た。 * 3/5 みやさか活性化協議会の共同作業(3/12)の花桃及びモミジの苗木の植栽のため測り出しと支柱を配置した。 * 3/12 みやさか活性化協議会主催の川上地区での花桃及びモミジの苗木植栽作業に参加した。					
	主な活動の流れ					
		植樹祭準備。支柱の配置、苗木・バークの搬入。	植樹祭当日。一般植樹、記念植樹、椎茸の菌打ちをサポート。	重点整備計画地、旧夕森荘下の東屋、池の周辺整備。	紅葉の季節前の作業。駐車場周辺、広場周辺の雑木等の除去。	川上地区でのみやさか植樹事業の準備作業。
	4月	4月	7月	10月	3月	3月
具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)						
前年までに重点整備計画地3か所の整備作業が一巡したことで作業負担が少し軽くなり、重点整備計画地以外にも手を伸ばせるようになって来た。今後は重点整備地を中心に次の整備地を決めて作業を継続する。もみじ守り隊のメンバーの子供やその友達が活動に興味を持って参加してくれた。安全に注意しながら、彼らの今後の活躍を見守りたい。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
川上まちづくり推進協議会は市より夕森溪谷キャンプ場の指定管理者として選定され、また、夕森国際ます釣り場の運営も受託した。コロナ禍が続く中、山と清流、里山の素晴らしさを感じ取って頂けるよう、もみじ守り隊の活動を通じて、川上地区の活性化の核となる夕森溪谷の発展に貢献する。より安定した活動を続けるために多くの賛同者を地区内外から得る努力を継続する。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



植樹祭準備苗木・支柱配置作業4/10



You遊館P周辺雑木の搬出作業10/9



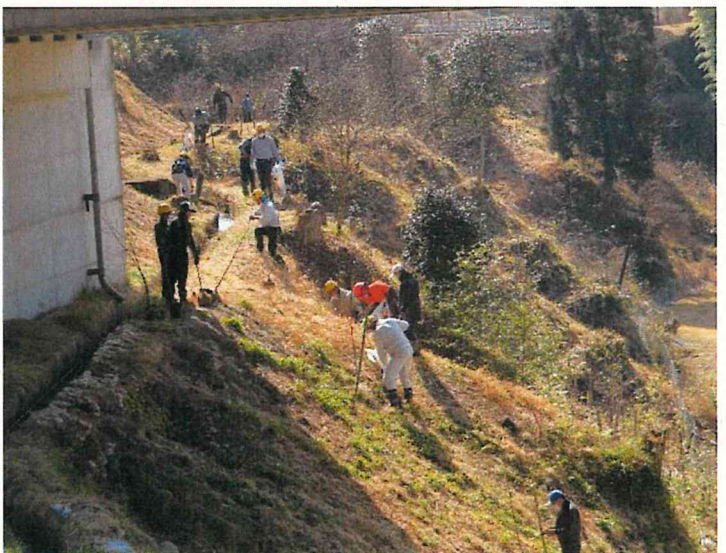
第72回川上植樹祭 椎茸菌打ち4/11



みやさか植樹事業の準備支柱配置作業 3/5.



旧夕森荘下 池周辺のサツキ等整備7/10



みやさか全体作業終了後対岸で植栽 3/12.

ふりがな 団体名	はっぴーたん	地域名	加子母		地区	
	はっぴーたん	会員数	9		人	
ふりがな 代表者名	こじま みき	延べ 参加人数 内(会員 数)	30		人(25 人)	
	小島 未来					
事業名	地域を創るママ力向上事業					
総事業費 内(補助金額)	212,981 円	実施期間	3 年 5 月 28 日	から		
	(200,000 円)		4 年 2 月 28 日	日まで		
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号		⑪
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他	①健康・福祉		②生活安全
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			③環境		④観光・交流
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑤農業		⑥林業		
事業の目的						
<p>1、加子母地域の女性の方で、子育て世代のお母さんをサポートする場やよりよい子育て環境、仕事の獲得などに関わる仕組みをつくり、住みたい地域を自分たちで創ること。</p> <p>2、加子母の情報を集めて発信し、加子母に愛着をもってもらうこと。</p> <p>3、加子母の女性が子育てや家事の合間を活用して少しでも収入を得て子育てや生活を楽しむことができる環境を創り、地域創りに関心を持ってもらい会員を増やしていくこと。</p>						
具体的な活動内容						
<p>1、活動スペースの環境作り</p> <p>2、加子母軽トラ市への出店(活動の宣伝活動)</p> <p>3、ひととき商店街への参加(イベント開催)</p> <p>4、公式LINE・インスタグラムで育児情報の発信</p> <p>5、はっぴーレターの発行(加子母地域の方に活動報告と子育て世代の声を届ける通信)</p> <p>6、カシモール地元ライター事業への参加</p>						
事業 内容	主な活動の流れ					
		→	加子母軽トラ朝市		←	
			ひととき商店街			
	カシモール地元ライターの活動		はっぴーレターの発行	アンケート調査	スマホ写真講座	
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果(失敗や苦勞したこともご記入ください。)						
<p>今年もコロナ禍で大人数に声をかけて活動するということができない代わりに、軽トラ朝市やひととき商店街への出店が活動費のためだけでなく交流の機会として大切な時間となりました。はっぴーレターや公式ライン、インスタグラムなどの情報発信のツールをもつことで直接出会うなくても繋がったり、お母さんたちの意見を集めたりすることができました。はっぴーたんという子育て世代の集まりが、イベントなどのか活動を通してお母さん作家の方々や農家さん、先輩ママさんなどと出会いがあり、一緒に地域創りに取り組める機会を得ることができたことは大きな成果だったと思います。</p>						
今後の展開(自立に向けた活動)						
<p>加子母は急速に少子化が進んでいるのと同時に、子育て世代のお母さんが減っています。しかしながら、地域として若い世代のお母さんたちの意見を聞いたり、多世代との繋がりを持てる機会があることは大事なことです。地元ライターの活動やスマホ写真講座などの学びを通して発信力のある人材を育てていくことや、それぞれのスキルを生かせるようにしていくこと、託児などを通してお互いを支え合う環境を作り上げていくことで子育て中でも社会に参加できる地域にしていきたいと思っています。加子母で子育てしているお母さん同士だからこそコロナ禍でも孤育てにならない地域にするためにお互いを支え合える活動を続けていきます。</p>						

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

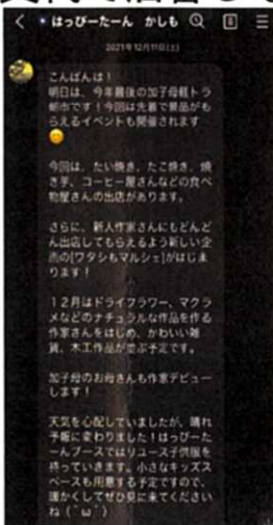


軽トラ朝市でリユース服バザーカシモール地元ライターに参加



ひととき商店街を企画

交代で店番しながら参加



行事やお知らせなどは公式ラインを使って一斉送信

イベントの企画を相談



スマホ写真講座を開催

自分たちで託児も担当

(令和3)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	かしもけいとらあさいちすいしんいんかい		地域名	加子母		地区
	加子母軽トラ朝市推進委員会		会員数	10		人
ふりがな 代表者名	くまざわひろし		延べ 参加人数 内(会員 数)	2000 人(60 人)		
	熊澤 博志			コロナ禍のため、3回開催が中止になり4回は予定どおり実施した。中津川市内でクラスターが発生していた月は来場者が減った。顧客数=月平均200名、出店者数=月平均10~20店舗。最終月12月の出店者は大きく増加した。		
事業名	加子母軽トラ朝市推進事業			実施期間	令和 3 年 4 月 1 日から 令和 3 年 12 月 15 日まで	
総事業費 内(補助金額)	216,959 円 (200,000 円)					
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号 ④⑤⑦⑧	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業の目的						
本事業は地域おこし事業で、軽トラ朝市の開催を通して、地域住民の生きがいづくり、交流、収入増、農地の有効活用を推進することを目的としています。						
具体的な活動内容						
<p>1、6月~12月の毎月第3日曜日、午前9時から12時まで道の駅かしもけいの第2駐車場にて「加子母軽トラ朝市」を開催。</p> <p>2、農作物、手作り品、飲食物の出店、路上ライブ、各種イベントを推進する。</p> <p>3、紙媒体(新聞折り込み、パンフレット等)、ネット媒体(広報放送、インスタグラム、HPへの掲載等)を通して若者から年配の幅広い世代の住民への広報活動、新規出店を促す。また、加子母外からの出店者増を推進する。</p> <p>4、出店者の資質や技能向上のための研修(他地区軽トラ市視察、出店者の情報交流、軽トラ朝市推進委員会月例会議の開催(委員は出店者の中から10名。毎月一度の会議で、イベントの開催、研修・商品の質の向上、出店者拡大、店舗の工夫、一般への宣伝、集客の工夫、感染予防対策などを検討)。</p> <p>5、各種団体とのコラボの推進。(中津川市市民協働課、NPO法人かしもむら、むらづくり協議会、道の駅加子母、農業、商工業、飲食業との連携推進。</p>						
主な活動の流れ						
事業 内容	進 防 止 備 品 整 備 推 進 会 議 (毎月)	軽 ト ラ 市 パ ン フ レ ッ ト 配 布 (中 止)	感 染 防 止 策 告 白 の 配 布 (中 止)	感 染 防 止 策 告 白 の 配 布 (中 止)	感 染 防 止 策 告 白 の 配 布 (中 止)	感 染 防 止 策 告 白 の 配 布 (中 止)
	6月	7月	8月	9月	10月	11月
具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)						
<p>前年度はコロナ禍のため年間通して開催できなかったが、今年度は4回実施、3回中止となった。コロナ禍にもかかわらず最終開催月の12月には出店者やイベント参加の20店舗が参加した。今年度の特徴は加子母外からの出店者が増えたこと。(東白川村、下呂市、付知町、各務原市、土岐市、恵那市からの出店)。また、食べ物(鯛焼き店、たこ焼き店)が出たり、女性のハンドメイド店が大幅に増えた。出店者の意欲がすごく高まったのに、市内のコロナ感染クラスターを警戒して来場者が例年より少ないなど感じた。また、人が密になるイベント開催ができなかったのが残念。次年度、コロナ流行が収まれば来場者は再増加するだろうと予想している。月一回の「軽トラ朝市推進委員会定例会議」による努力で新規出店者の拡大や広報活動が活発にできたと、頑張るサポートのおかげで感染防止措置や機材置き場なども作れた。路上ライブも感染対策をして毎回欠かさず行われた。多団体との連携(むら協農業委員会主催の野菜品評会、消防署によるキャンペーン、道の駅かしもけいの連携による年末くじ引き大会)も中止せずにできた。広報放送や新聞折り込み、パンフレット配布だけでなく、インスタグラムやSNS、HP、ブログなどのネット活用による宣伝が進んだ。</p>						
今後の展開(自立に向けた活動)						
<p>次年度、コロナ禍が一段落したら、今までの努力が実を結んで、来場者も出店者も増加するだろうと期待している。軽トラ朝市推進委員会を中心に、とりくみたい課題も多くある。毎月20店舗以上の出店者を確保(出展料=500円/1店舗)したり、加子母外の出店者を増やして、ネット宣伝して名古屋方面からの通過客をとらえて来場者を増やす。客の満足度をあげるため楽しいイベントを多く開催。飲食の出店を増やし、多くの団体との連携の幅を広げて賑わいをつくるなどである。今後、地産地消対策を進めて食料などが自給自足できるようしていけばエネルギー不足や物流の滞留などによる問題にも対応できると考える。</p>						

活動状況写真等



＜コロナに負けず再開して逆に出店者が増えた＞

感染防止のため1年間のブランクをおいて「軽トラ朝市」が再開できた。7月、10月、11月、12月と出店者が、20店舗59名までに回復した。ただ、客足はコロナで警戒しているためか特に県外からの客が12月は少ない気がした。



＜女性の活躍が目覚ましくなった。＞

女性会員が中心になってお試し出店などの新規出店者開拓に取り組み、女性出店者や村外（東白川5、付知2、各務原市1、



取材方法を話し合い、出店者取材する中学生

＜中学生が軽トラ朝市を取材して全戸配布した。＞

加子母中学校3年生が全戸配付の「むら協ニュースの記者になる」という取り組みで軽トラ朝市の出店者達に取材して発行した。来場客の実態をつかんで報告してくれたり、中学生の軽トラ市への参加などを提案したので次年度の取り組みに生かした

＜感染防止対策を進めた。＞

がんサポの支援で軽トラ朝市会場の入り口2か所に体温測定器、手指消毒液などを設置。各店舗には透明シートを設置。路上ライブもシートで囲う、受付で感染防止を促すなどの体制ができた。



＜↑広報活動を集中的に行った。＞

＜↑のぼりばた収納庫を手作りした。＞

＜↑委員会で会場整備＞

軽トラ朝市のパンフを中津川市内や加子母内の要所においたり、軽トラ朝市の歌をCDにして配布したり、インスタグラムで動画発信をしたりラインで会員同士の情報交流したり、毎月の新聞折り込みや広報放送で宣伝したり、のぼり旗や看板を新調したり、のぼりばた収納庫を手作りしたりして活動に独自性や機動性が進んだ。



今年は天候不順が続いて農作物被害も多かったが農家も頑張った。↓

↑コロナ禍でイベント開催が難しかったが、むら協農業分科会主催の野菜品評会は今年3年目。今年度、消防署のキャンペーンで消防車が出動したり、道の駅とのコラボで景品が当たる年末お楽し

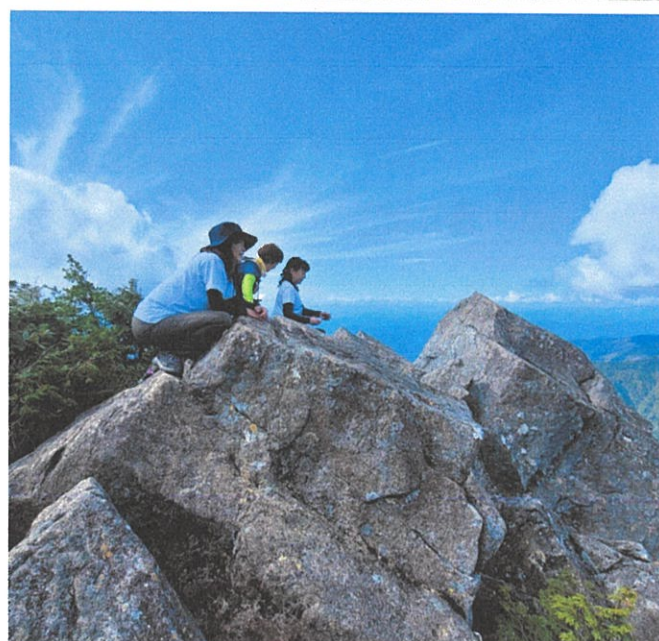
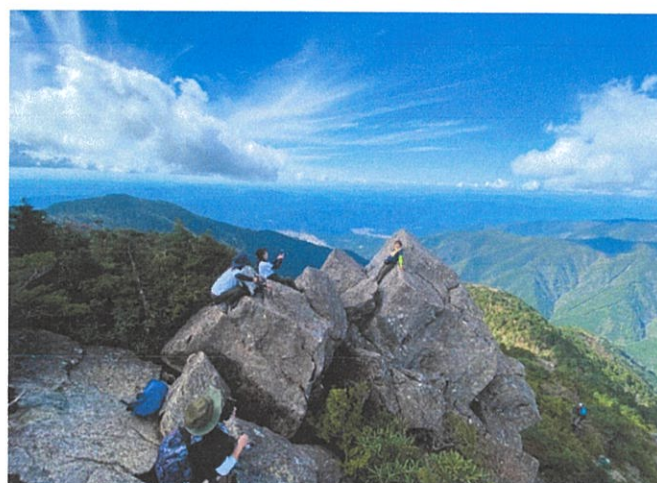
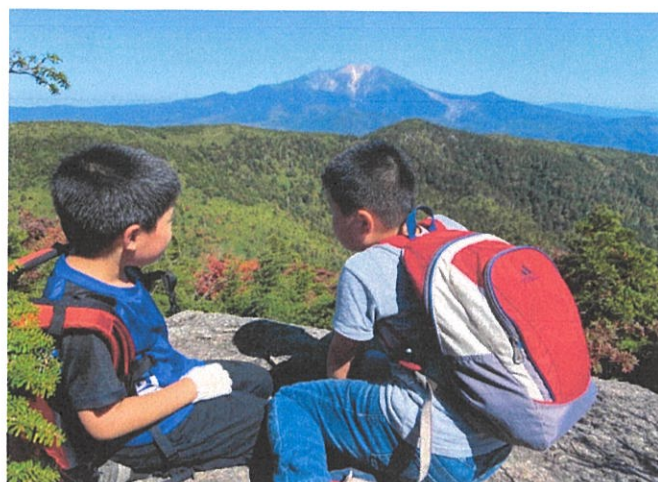
↑出店者が増加し、多様化したのが、以前に比べて県外からの観光客が少なかったのは市内のコロナ感染クラスターが収まらなかったのを警戒してのこと

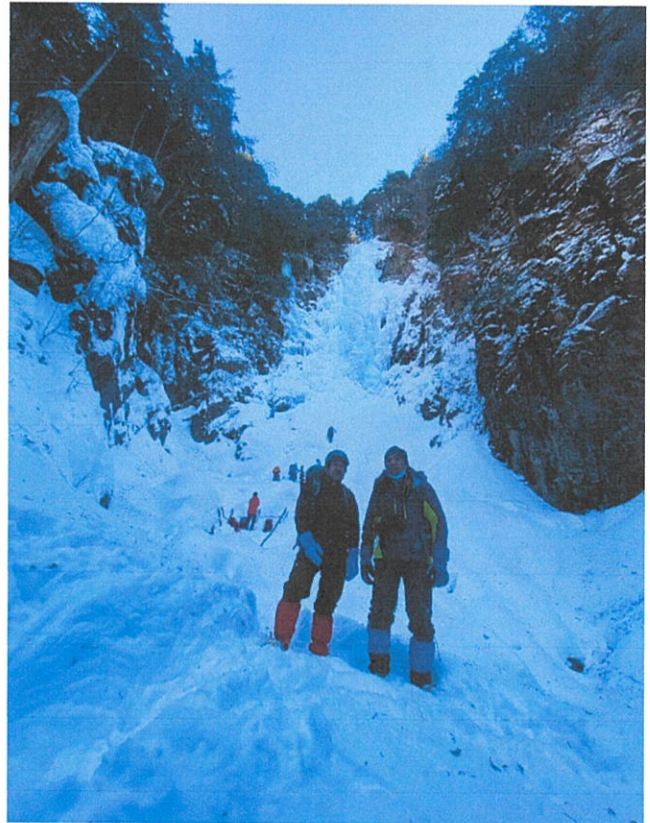
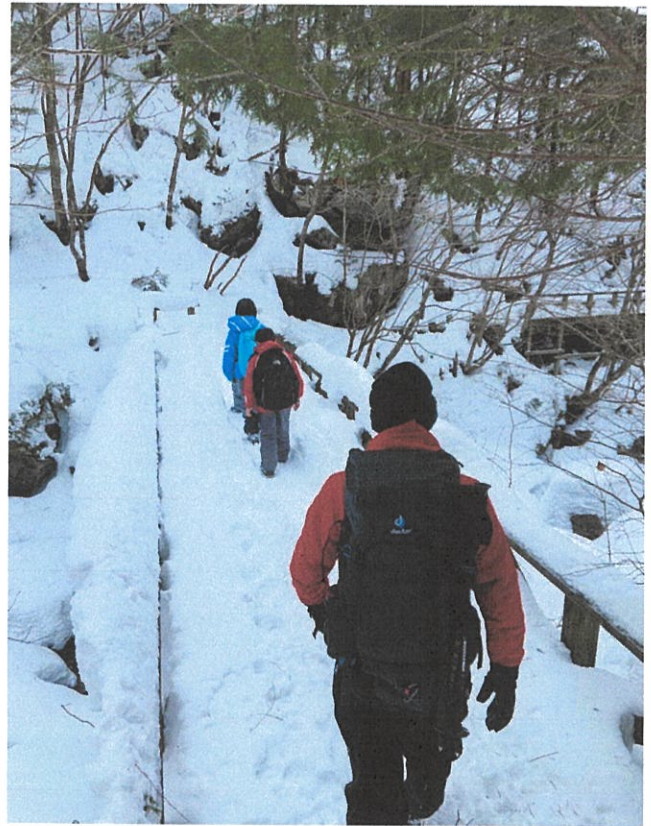
↑コロナ禍にもめげず路上ライブは感染防止シートで囲って参加し会場を盛り上げた。

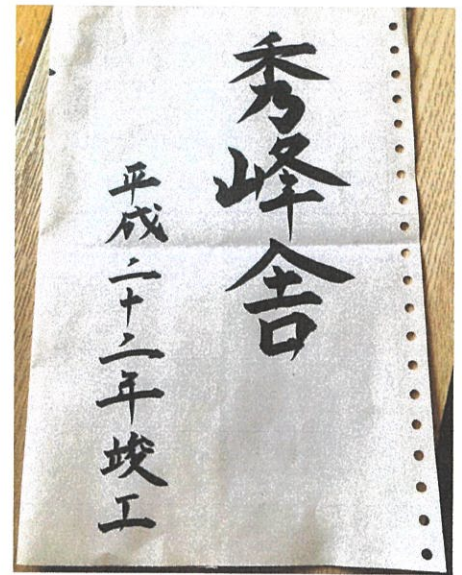


ふりがな	かしまのうりんぱくすいしんきょうぎかい	地域名	加子母	
団体名	加子母農林泊推進協議会	会員数	12 人	
ふりがな	かいちょう ないきあつし	延べ	23人 (13人)	
代表者名	会長 内木篤志	参加人数		
事業名	小秀山ルート整備	うち (会員数)		
総事業費 内 (補助金額)	289,837円 (200,000円)	実施期間	令和3年10月1日～ 令和4年2月28日	
事業 分 類	番号 3 ①地域の課題の解決など、住みよい地域づくりに寄与する事業 ②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業	活 動 分 野	番号 3	①健康・福祉 ②生活安全 ③観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他
事 業 内 容	事業の目的			
	小秀山ルートを中心とした整備・ツアーの実施 ドローンを使った撮影・動画作成			
	具体的な活動内容			
	小秀山看板確認 → 構成員で下見 小秀山ツアー → 募集開催 乙女溪谷氷瀑ツアー → 募集開催			
	主な活動の流れ			
	ツアー実施打合せ・募集 看板製作について 7・8・9月	小秀山看板確認 小秀山ツアー 10月～	乙女溪谷氷瀑ツアー 積雪状況のチェック (看板設置場所) 1月～	積雪状況調査 問題点など洗い出し 2月
	具体的な活動成果			
	<p>全体：少し活動できる状況になるかと思っていたが、引き続き新型コロナウイルスの猛威が収まらず、年明けからまん延防止等重点措置が長く設定されたことと、近年なかった積雪量があり、活動内容の見直しが必要になった。</p> <p>小秀山登山・乙女溪谷氷瀑ツアー：ツアーに関しては、新型コロナウイルスでキャンプや登山などアウトドア人気を引き続き高止まりしていることも影響し、ガイドを伴う登山希望者が多かった。計7本開催。</p> <p>動画撮影・編集：計画時期に岐阜県まん延防止等重点措置がしかれたため、来年度以降の独自事業として延期。</p> <p>登山道看板設置：動画編集を延期したことにより、設置予定看板の枚数を増やし、登山道整備に使用。</p> <p>登山道誘導「小秀山登山➡」「高時山登山➡」看板を製作。設置を積雪予定の高さより上にするため冬期にしたが、まん延防止期間が重なり、降雪量が多過ぎ設置機材を持ってあげることが困難で積雪量調査を済ませ春以降設置。</p>			
	今後の展開			
	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染者動向にもよるが、需要の高まった少人数での季節ごとトレッキングを開催していく。 ・凍結が解除されるころに製作した看板の設置をツアーの形として行う ・定期的な観光ルートの安全確認 ・焚火を囲む、山野草を楽しむなど登山までの体力がない人向けのツアー開催 			

活動状況写真







(令和3)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	かしもぼうさいしかい	地域名	加子母	地区		
	加子母防災士会	会員数	30	人		
ふりがな 代表者名	こうけつてるみ	延べ 参加人数 内(会員数)	66	人(41 人)		
	瀨瀨輝己					
事業名	地域の防災意識向上					
総事業費 内(補助金額)	203,055 円 (200,000 円)	実施期間	令和 3 年 6 月 1 日から 令和 4 年 3 月 31 日まで			
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号	①、②	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的					
	加子母地域で防災士の資格を持つ人が増えてきたので、防災士の連携を図るとともに、各自治会の防災士がその自治会の防災リーダーとして活躍できるようにする。 防災士対象の研修を行い、個々のスキルアップと防災リーダーの意識向上を図る。 地域住民の研修機会を設け、多くの住民が自分のこととして防災についての意識を向上する。					
	具体的な活動内容					
	防災士自身のスキルアップのため、防災講演会と家具転倒防止の技術を学ぶための研修会を行った。 加子母教育雄日に合わせ、恵那市より起震車をお借りし、住民の皆さんに体験していただいた。 初年度であるため、10区のうち1区(小郷区)で家具転倒防止の研修会を行った。 防災士が活動する時着用するベストをそろえた。背面には佐々ゆるをあしらったロゴをつけた。					
	主な活動の流れ					
			研修会(RSY栗田氏)	研修(家具転倒防止作業)	小郷区講習会	
				教育の日起震車 ベスト購入 防災安全分科会で中間報告		
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
防災士自身の研修会としてレスキューストックヤードの栗田暢之氏を招き特に近年多くなっている雨の被害のこと、タイムリーな話題として熱海市での大規模災害のことなどを学んだ。またボランティア活動の実施の様子などを知ることができた。11月には守山ボラネットの鷺見氏ほかメンバーを招き、家具転倒防止の実施を体験した。どちらもコロナかということで、メンバーの参加動員を思うようにすることができず、やや低調な研修会となった。3月、小郷区での一般住民向けの研修会では約25名の参加を得て、阿寺断層の理解と、家具の固定方法などを実例を含めて講習し、好評を得た。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
各区での家具転倒防止等の講習会を実施(6区程度を想定) 家具固定作業の要望があった場合には、ボランティアにより作業実施 防災講演会(安江健一氏(富山大学准教授)を想定)						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

1 会員研修(R3.7.16)



レスキューストックヤード栗田暢之氏による講演 熱海市の土石流のことも話題に(写真上)

2 会員研修(R3.11.28)



家具固定ボランティアを主な活動としている「守山ボラネット」のメンバーから家具固定やガラス飛散防止フィルム張りなどの講習を受けた。(上)

3 起震車(R3.11.21)



11月21日、加父母教育の日の午前中に総合事務所にて起震車体験を実施。10名近くの方が体験した。

4 家具転倒防止講習会(R4.3.10)



阿寺断層について説明する会員(上)
家具の固定方法を模型を使って説明する会員(下)



5 新聞記事



令和三年十二月三日付岐阜新聞(右)
令和四年三月十二日付岐阜新聞(左)



令和3年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	たせっこかい	地域名	福岡	地区							
	たせっこ会	会員数	13	人							
ふりがな 代表者名	いとう みか	延べ 参加人数 内(会員数)	75 人(8 人)								
	伊藤 実加		ワークショップ(1回)×27 竹灯りの夕べ(1回)×24 清掃活動(1回)×24 (オンラインイベントは数に入れていません)								
事業名	イノベーションを生み出す 地域創生活動										
総事業費 内(補助金額)	53,499 円 (50,000 円)	実施期間	令和 3 年 6 月 2 日から 令和 4 年 3 月 25 日まで								
事業 分類	番号	③	活動 分野	番号	⑪						
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流							
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育							
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他									
事業の目的											
<p>・地域の治安悪化させないために、廃校になった田瀬小学校の荒廃化を防ぎ、田瀬のシンボルとして、コミュニティの場、情報発信の場、防災施設、人と人をつなぐ場所として活用できるように働きかけていく。</p> <p>・子どもや孫の世代のために愛着のある学校を違う形でよみがえらせる地域創生活動をする。</p>											
具体的な活動内容											
<p>①福岡まちづくり協議会参加登録 ②竹灯りワークショップ開催・南宮神社夏越の大祓参加 ③田瀬南宮神社×たせっこ会竹灯りの夕べ&七夕飾り開催 ④愛知テラコワ×たせっこ会リポートレースオンライン開催 ⑤異能vation2021ジェネレーションアワード応募(約400アイデア応募) ⑥旧田瀬小学校グラウンド清掃活動 ⑦OPEN異能vation2021オンライン参加(たせっこ会から3名ノミネート) ⑧活動報告通信の発行(3月末500部配布予定)</p>											
事業 内容											
	①	準備	②開催 ③開催	④開催	⑤開催	準備	⑥開催	⑦	準備	⑧開催	
	4月		6月		8月		10月		12月		2月
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)											
<p><成果> ①当初予定していた活動のうち力を入れていた部分については、規模は縮小したが新型コロナウイルス感染症対策をしながら活動ができた。 ②苦手だったIT企画にトライし、ステップアップできた。 ③たせっこ会の活動が地域に定着してきた。</p> <p><苦勞> ①新型コロナウイルス感染症の影響で宣伝も最小になり、リアルな開催が難しく、予定通りできなかった。 ②IT企画では音を切り忘れ、先方に聞こえてしまった。 ③活動が定着したが、コロナ渦のため学生の参加が難しかった。 NPO設立にはまだ問題などがあるため実現出来なかった。</p>											
今後の展開(自立に向けた活動)											
<p>■100年後もこのままに・・・をテーマに、平和で穏やかな地域性を守りながら活動する。 ■骨格になる活動(②③⑤⑥)を継続し、バージョンアップしていく。 ■コロナ渦でも活動できる内容や、学生との活動、ほかの地域団体との活動の展開を考える。 ■たせっこ会の思い、活動に共感してくれる人を増やし、世代交流・地域創生などをさらに深めていく。</p>											

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）

■竹行灯ワークショップ開催・南宮神社夏越の大祓



■竹灯りのタベ&七夕飾り開催



■旧田瀬小学校清掃活動



TASEKHO

■OPEN異能vation2021



■3名ノミネート！



■インスタグラム

